

三田市民病院

外科

指導担当医（役職）

光辻 理顕（外科・消化器外科部長）

実習概要

概要

外科の主治医団の一員として4週間過ごします。処方以外はほぼすべて初期研修医と同様に行動します。学生一人当たり患者1～2人程度担当し、主治医団の回診やICに参加し、検査、手術にも参加します。術前検討会では症例のプレゼンテーションを行います。

医療面接

毎日、朝夕に必ず担当患者を訪室し、医療面接と身体診察を行います。

身体診察

担当患者を毎日診察します。特に腹部所見の取り方については、外科医の視点に沿った診察の進め方ができるよう指導します。また術後患者に対しては、予想される合併症の早期発見ができるような診察法を指導します。

カルテ記載

毎日、学生カルテを記載します。指導医が記載内容を確認し指導します。

症例プレゼンテーション

毎週金曜日の術前カンファレンスで、口頭で担当術前患者の症例提示を行います。

その他（特色など）

腹部救急疾患を経験したい学生には、救急患者が受診したときに一緒に診察に当たります。また緊急手術となった場合には、助手の一人として手術に参加することも可能です。

進行がん患者においては、術前、術後に各種抗癌剤治療（化学療法）を外科で行っており、希望があれば副作用のマネージメントも含めて治療の実際を学ぶことができます。

学生へのメッセージ

病院の特性上、胃癌、大腸癌はもとより、ヘルニア、急性虫垂炎、胆石胆嚢炎といったcommon diseaseも多く、幅広く症例を経験することができます。